

令和7年4月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和7年4月24日（木）

開会 午前9時30分 閉会 午前10時47分

2 場 所

市役所西館 大会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 荒牧委員 白木原委員 吉田委員 永野委員 梶原委員

欠席者 飯盛委員

4 会議出席職員

田中教育部長 鹿江学校教育担当部長 西教育総務課長 於保保育幼稚園課長 空閑生涯
学習課長 田久保文化課長 嘉村教育総務課副課長 南里保育幼稚園課副課長 土井教育
総務課庶務係長

5 傍聴者

1名

6 教育長の報告事項

- 新年度が始まり、小・中学校や園では新入生や園児を迎えてスタートした。現在は新緑の心地よい時期で、過ごしやすい日々が続いているが、昼間の気温が上昇する可能性もある。日本の四季は少しづつ変化している中で、今は特に良い季節だと感じている。
- 最近、奈良市で発生した部活動中の落雷事故により、重大なけがを負う事案があった。特に屋外で活動する際には、安全に対する意識を常に持つ必要があるが、全ての人がその重要性を十分に理解できているわけではなく、改めてその怖さを認識しなければならない。また、小城市でも落雷があり、各学校が下校を一時停止するなどの安全対策をとった。今後も大雨や台風などの気象の変化に備え、子どもたちの発達段階に応じた防災教育を行うことが重要だと考えている。
- 鳥栖市の小学校で個人情報が含まれた保健調査票が紛失する事案が発生した。子どもたちがどのようにその書類に触れるかわからない状況で、この問題は他の学校でも起こり得るものである。個人情報の収集や保管に関しての不備があったと考えられるが、学校はこのような問題がいつどこで発生するか分からぬ事案として捉えなければならない。
- 新年度がスタートして3週間経過したがその中でも様々な事案が発生しており、対応には苦慮する部分もあるが、組織で動ける体制が整っているかどうかは大きな鍵になると思う。
- 4月1日の小・中学校の教職員の赴任式で、教員の魅力や教師としての原点を考えることの重要性について話をした。新しく赴任する先生たちには子どもたちと向き合い、成長をサポートする姿勢が必要で、自分自身が先生になった魅力を感じながら教育に当たってもらいたいと話した。また、いじめや不登校などの問題にも対応しながら、自らも学ぶ姿勢を持つことが求められる。環境が変化する中で、先生と子どもたちが共に社会で生きる形で教育が進められる事を望んでいる。
- 私は子どもたちに人生の選択の重要性について話している。選択肢は初めは少ないものの、成長するにつれて増え、違法行為を選ぶ可能性もある。重要なのは正しい知識を持ち、積

極的に良い選択をすること。義務教育の9年間で基礎を築き、16歳から18歳の間に自分の力で、自分で考え持つ子どもたちを育成する。最終的には、自分の力で選択肢を広げていってほしいと思っている。

- ・4月9日に江里口市長が退任し、4月10日から南里新市長が市政を引き継がれた。市政の課題が多い中、今まで積み上げたものを大事にしながら新市長のもとで新たなスタートを切る重要性を改めて感じた。教育委員会も新体制で始まり、「城創伝心」という基本方針のもと、教育を通じた人づくりを大切にして、当事者意識を持ち、取り組んでいきたいと思っている。
 - ・4月1日 辞令交付式、年度始め式、公立園長会議、経営戦略会議、小城市教職員赴任式
 - ・4月4日 公立保育園入園式、課長副課長会議
 - ・4月7日 第1学期始業、県内小学生への贈呈式（県庁）
 - ・4月8日 県立高校入学式（牛津高校）、東部教育事務所管内定例教育長会
 - ・4月9日 江里口市長退任式
 - ・4月10日 南里市長着任式、小城市立中学校・芦刈観瀬校入学式
 - ・4月11日 小城市立小学校入学式、小城市育英学生候補者選考委員会、子どもサポーター配置校校長合同研修会
 - ・4月12日 小城市スポーツ推進委員協議会総会
 - ・4月13日 第56回小城観桜バレーボール大会（婦人）
 - ・4月15日 認定こども園三日月幼稚園入園式、市町教育長・教育委員会連合会役員会
 - ・4月16日 定例小中学校長会
 - ・4月17日 全国学力・学習状況調査/佐賀県学習状況調査、青少年育成市民会議常任理事会
 - ・4月18日 課長副課長会議
 - ・4月19日 令和7年度小城市戦没者追悼式
 - ・4月20日 第78回小城観桜卓球大会
 - ・4月21日 議員勉強会、防犯グッズ贈呈式（三日月小）
 - ・4月22日 同和教育職員研修会、令和7年度佐賀県教育委員会・市町教育委員会協働会議
 - ・4月23日 保護司会小城支部総会、小城市文化連盟総会
 - ・4月24日 定例教育委員会、小城市定例区長会、小城市青少年育成市民会議総会
- (以下予定)
- ・4月25日 令和7年度佐賀県市町教育長会連合会春季定期総会・研修会
 - ・4月29日 小城市地域婦人会総会
 - ・4月30日 学校経営計画説明会
- ・4月22日の令和7年度佐賀県教育委員会・市町教育委員会協働会議の話の中で特にチーム担任制の話をしたい。今回初めてチーム担任制を導入した学校は県内9校。その中に、小城市的牛津小学校が入っており、チーム担任制を活用している。このチーム担任制というのは、学級担任を1人に固定せず、例えば2クラスあって、1人、新規採用の先生をつける場合、今まででは新規採用の先生が1組か2組に担任として配置をするがこれはチームなので、1組、2組、もう1人つなぎの先生ということで、A先生、B先生、C先生で担任業務をローテーションで回していく、学年全体を3人で見るという形を取る。担任になった場合には、朝の会、給食、帰りの会を行い、教科も授業をするので複数の先生方で見る可能性も出てくる。今回は牛津小学校の4年生がチーム担任制を取っており、1週間ごとにローテーションしていく。特に新規採用の方が、ベテランの先生や経験のある先生から教えてもらいながら、チームを組むことで新規採用の先生方も困り感があったときにすぐ解決できるような体制がとれる加配をいただいている。

【質問・意見】

◇C委員

チーム担任制について、チームで子どもたちを見ていく、教育していくという制度は、新任の先生にとっては心強いものだと思うし、いろんな教え方があるという点で非常にいいことだと思った。しかし、子どもたちが、1週間のローテーションで先生が替わるということは、先生の教え方にも違いがあるので、子どもたちが混乱することもあるのではないかと思った。

◇E委員

私も子どもたちの立場から見たときに、生活の安定とか心の安定とかというところはどうなのかなという若干の心配をするので、そういうところも検証をしていただきたいと思う。

またこの制度に対する募集というのは、各学校に直接募集があったのか。例えば、小城市で応募した学校が何校ぐらいあるのかということが分かれば教えていただきたい。やはり学校としては、チーム担任制という制度を取り入れながら、若い先生方を育てたいという意識が強いのか、やっぱりこれが必要な制度なのかという意識を知りたいなと思った。

◇教育長

子どもたちのここ2週間ほどの様子を校長先生に聞いたところ、特段違和感はないとのことだった。ただ、一人一人に聞いたわけではないので、これは検証するべき内容と思っている。

また、先生が替わるということに対応できない子どもも出てくるかもしれないが、メリットとしては、自分が相談しやすい先生に相談できることがある。どの先生にも相談できるという、どの先生とも話をしていくよというような雰囲気になっているので、それほど子どもたちには違和感がない。これは年齢的に4年生だからかもしれないが、ご指摘の部分については今後、検証していくだろうと思っているので、私たちも見守っていきたいと思う。スタートしたばかりなので、学校としてもいろんなことを対策、実態を見ながらやっていくということを話をされている。

この制度は前年度のうちに、教育委員会に新規事業として募集があった。校長会で話をし、スタートするにも、学級数もよく、牛津小学校も了承いただいたという形を取って、教育委員会が選定するような形で、前年度のうちに話を進めていた。校長会の中でやり取りをしながら、手を挙げて、小城市で1校認められた。

今後、県が新規事業として増やしていくのではないかと思う。

◇C委員

最終的には、この制度は学校ごとに決められるということか。いずれこの制度が全部の学校に体制として築いていくということか。

◇教育長

これはあくまでも加配。この加配制度をチーム担任制で利用するので、これをどこでもというのではなく現実的にはあり得ないだろうと思う。県内で9市町19校が手を挙げたが、その中から9校が選ばれ、実施されることになった。来年度以降は、予算上の問題になってくるだろうと思うので年度ごとにどの学校が選ばれるのかになってくると思う。これは県の施策として、いい施策だと思うので、今後も引き続いてやっていただきたいと要望はするつもりでいる。

◇D委員

チーム担任制のこの1人加配というのは、もともとそこに配当されていた級外に当たる人がそこのチーム担任制に当たるということではなくて、さらに1人追加で加配をすると理解をしてよいか。

◇教育長

このチーム担任制が認められなかった場合については、2クラスの場合は、新規採用の先生とベテランの先生でもう一人の先生の配置がないということになる。定数としても減るということ。新規採用の先生に対するチーム担任制度の加配になる。

◇D委員

9校分9名、加配が県下であってるということか。

◇教育長

9名分の加配があるということ。

この考え方というのは、加配がつく、つかないにかかわらず、可能な限りやっていかなければいけない。チームでやっていくという認識も強くなるので、これは悪いことではないと思う。ただ、やはり加配がつくのは望ましいことかなと思う。

【結果】

承認

7 議 事

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

【質問・意見】

◇F委員

会議録を改めて読ませてもらった中で感じたことだが、小城市立中学校と芦刈観瀬校の卒業式で、芦刈観瀬校は小中ということで、3月7日に一緒に卒業式をされていると思う。ほかの小学校については3月18日が卒業式で、小学校6年生が中学校に上がるまでに、入学式のことを考えると芦刈観瀬校はほぼひと月の期間がある。小中一貫校ということで一緒に卒業式をしていると思うが、ほかの小学校と一緒に、小中学校、別々に卒業式はできないのか。約10日間の間に学力をつけさせるとか、そのことが子どものためにも、保護者のためにもいいのかなという感じがしたので発言をさせていただいた。

◇教育長

この卒業式を一緒にするか入学式も一緒にするかという議論は、教育課程の時間数の問題も含めて数年かけて議論をした。日数的には普通の小学校より短いが、効果的に教育課程を編成しているので、授業時数自体は何も問題ない。また、やはり式典を小学校もして中学校もして別々というのはなかなか厳しい。やっぱり子どもたちは一緒に学習しているという意識も持ちながら、子どもたちの意見も含めて考えていくと、今の状況の中で進めていいのかなというところは、学校関係者も含めて思っている。

今後考えなければならないのは、高校入試と中学校の卒業式の兼ね合いについてである。入試日程が早まると、進路決定が早まるので授業の進行に影響が出る可能性がある。式典の実施に関しては、授業時間の確保や教育活動の展開に配慮し、小中一貫校では柔軟な対応をいただいている。現在においては、式典を別々に行う意見はほとんど出ていない。

【結果】

承認

第2 報告事項

【報告第1号】

小城市社会教育委員の委嘱について

◇生涯学習課長が説明

報告理由は、小城市社会教育委員の委嘱について、小城市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定により臨時代理したため、同条第3項の規定に基づき報告するもの。

小城市社会教育委員12名のうち8名については、3月の定例教育委員会でご承認いただいたが、残りの4名について、再任または異動等により変更があったため、今回報告する。

小城市校長会からの2名は再任。小城市P T A連絡協議会からの2名は新任。任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年となる。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

【報告第2号】

小城市民図書館協議会委員の任命について

◇文化課長が説明

報告理由は、令和7年3月31日で委嘱期間が満了となったため、小城市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定により臨時代理したので、同条第3項の規定により報告をするもの。

任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間となる。

委員9名のうち2名が新任。残りの7名は再任である。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

【報告第3号】

小城市立中林梧竹記念館協議会委員の任命について

◇文化課長が説明

報告理由は、令和7年3月31日で委嘱期間が満了となったため、小城市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定により臨時代理したので、同条第3項の規定により報告をするもの。

任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間となる。

委員8名全員、再任である。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

【報告第4号】

小城市立歴史資料館協議会委員の任命について

◇文化課長が説明

報告理由は、令和7年3月31日で委嘱期間が満了となったため、小城市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定により臨時代理したので、同条第3項の規定により報告をするもの。

任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間となる。

委員6名全員、再任である。なお、昨年度までは7名だったが、1名退任された。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

【報告第5号】

小城市文化財保護審議会委員の任命について

◇文化課長が説明

報告理由は、令和7年3月31日で委嘱期間が満了となったため、小城市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定により臨時代理したので、同条第3項の規定により報告をするもの。

任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間となる。

委員5名全員、再任である。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

8 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

◇教育総務課庶務係長が説明

①芦刈観瀬書道会「中島蘆舟書作展」後援申請

②株式会社佐賀新聞社「北斎・広重 大浮世絵展」後援申請

③一般社団法人佐賀県書道教育連盟「第53回「大空」七夕書道展覧会」後援申請

④佐賀県中学校体育連盟「令和7年度佐賀県中学校総合体育大会（サッカー競技）」共催申請

⑤黄美会「第50回記念 黄美展」後援申請

⑥小城市三・九カップ実行委員会「第22回小城市三・九カップサッカー大会（ジュニア大会）」後援申請

⑦公益財団法人佐賀県臓器バンク「令和7年度第5回 いのちのリレー☆スターコンテスト」後援申請

⑧公益財団法人佐賀県スポーツ協会佐賀県スポーツ少年団「令和7年度第61回 佐賀県スポーツ少年団大会」後援申請

以上、共催1件、後援7件承認で報告する。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

(2) 令和7年度 教育委員会事務局の事務分掌について

◇教育総務課長が説明

令和7年度の小城市教育委員会事務局職員事務分掌は資料のとおり。教育委員の皆様の活動の中で、ご利用いただきたい。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

(3) 令和7年度 東部教育事務所及び小城市教育委員会学校訪問予定について

◇学校教育担当部長が説明

令和7年度の東部教育事務所及び小城市教育委員会の学校訪問は、掲載している日程のとおり。

以前お知らせしていた日程と一部変更になっているので、確認をお願いしたい。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

(4) 令和7年度 学校経営計画説明会について

◇学校教育担当部長が説明

令和7年度学校経営計画説明会を4月30日水曜日、市役所大会議室で行う。

例年の説明順と異なり、今年度は中学校を先に、その後、小学校という流れで説明を行う。教育委員の皆様には、最後に全体的な感想や気づき等をご指導いただければと考えている。資料をお渡ししているので、事前に学校経営の説明をあらかじめご一読いただければと思う。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

9 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 5月22日（木） 午前9時30分から

【場 所】 小城市役所 西館2階 大会議室

10 議 事【非公開】

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について

【承認】

第2 報告事項

【報告第6号】

就学援助の認定について

【了承】

【報告第7号】

教育委員会事務局職員の復職について

【了承】